

# たんぽぽだより



2021年 3月号

今年度もあと1か月となりましたね。保護者の皆様のご協力により1年間無事に過ごせたことに感謝します。

コロナウイルスは、まだ収まる様子はありませんが、この1年でどんな変化がありましたか？

先日テレビでフードロスの話が出ていました。日本では毎日一人当たりお茶碗1杯分のご飯が捨てられているそうです。その一方で、コロナ過で職が無くなり日本でも、食事にも困っている人たちが居る事を知っていますか？

「豊かさや便利さを追求していく事で良いのか？」ともう一度よく考え直すようにというコロナウイルス、いや地球からのメッセージではないかと思えます

たんぽぽでも、高齢者施設や、他園との交流が出来ず、様々な行事のやり方も試行錯誤しながら見直したり、学びの1年でした。しかし子ども達の成長にとって大事な事は、変えたくないという思いで職員一同頑張ってきました。

では、子ども達はどんな成長をしてきたか振り返ってみます。

つぼみ組さんは、赤ちゃんだった子ども達も、今では自分の思いを態度で、さらに言葉でも伝えられるようになりました。泣いている友達の頭をなでて、慰めてくれたり、おもちゃの取り合いのけんかをしたりと、社会性や思いやりの心が育っています。毎日感動の連続です。

つぼみの時代は真っ白なゼロからの出発 様々な経験を通して成長していく一番初めの大事な根っこ・基礎のまた基礎の時代です。人の一生の中で最もたくさんの事を吸収し、成長している**つぼみ世代の子ども達がどんな言葉を聞き、どんな扱いを受けてきたのかが一生を左右する**といっても過言ではありません。

もも組さん、4月から人数が多かったので、自己主張をして自由に動く子ども達に、保育士たちは目が離せませんでした。まだまだ2歳のイヤイヤ期真っ最中で言葉より先に出ることもありますが、おもちゃや順番など譲り合うほほえましい姿も見られるようになってきました。「イヤイヤ」「自分で」「だっこして」それぞれバラバラな思いを受け止めひとりひとりにとって必要な関わり方が求められる年代です。大人には「わがまま」だと見えるかもしれませんが。でもこの時期の**「いやいや」や「自分で」「だっこして」は、成長にとって必要なこと**なんです。自分が周りに**「受け入れられているか」を確認している時期**なのです。

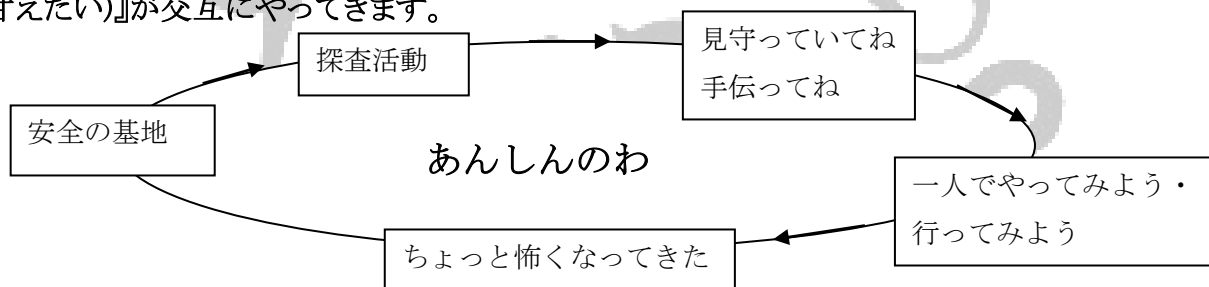
この時期に、いつも「ダメ!!!!」を言われていたらどうなると思いますか？それは自分を否定されたという思いが強くなります。それと同時にその子の基本はまず否定から始まると潜在意識に蓄積されていきます。否定がその子の基本になれば、それからの子育ても、その子の人生でも扱いにくい人になるでしょうし、何か大きな問題が起きた時や、大きな決断をする時に怖くて自分で決められません。

しかし、全部その子の思うとおりにし、すべて叶えてあげる必要はありません。まず、①聞いて②その内容や思いを言葉で返してあげてから、③出来る出来ないを話してあげただけで、受け入れられたことが伝わります。さらに言葉の獲得も出来ます。その場合、出来る出来ないの基準をはっきりと決めておくことが大事になります。毎回違つては、子どもも混乱しますからね。

ゆり組さんは、イヤイヤ期を経て友だち同士の遊びが増えて落ち着いてきました。経験したことや自分の思いを言葉で表現できるようになり会話を楽しめるようになりました。お当番活動からリーダーシップが取れるようになりました。2歳になったもも組さんと一緒に過ごすようになって、その友達の手伝いをしてくれる優しい気持ちが育っていきました。ゆり組と一緒に過ごした子も頑張る姿が見られるようになりました。

その気持ちが次の子供たちへとつながっていくことを信じています。

0歳から2歳までの間は『安心感の輪』の中で安全の基地⇒探索活動⇒見守っていてね、手伝ってね⇒一人でやってみよう・行ってみよう⇒ちょっと離れちゃったな⇒少し怖くなってきた⇒お母さんのところに戻ろう⇒安全の基地⇒探索活動⇒……………と、この時期は安心と探索活動と自立心と恐怖心とがぐるぐる回っていく始まりの時期なのです。年齢が上がっていけば安心の輪が大きくなっていきますが、まだ3歳の時点では小さな輪ですから『自分でしたい』と『自分で出来ない(甘えたい)』が交互にやってきます。



お母さんや、保育者が子どもにとっての安全基地・避難場所として甘えてきたときには安心できるような場所・抱きしめてくれる場所になっていると、また一人で出ていく事ができるようになります。そうやって安心の輪は大きくなっていくのです。それが自立の第一歩です。

### 新年度説明会 3月27日(土)

つぼみ組(0歳児) 10時より円の2階にて もも組(1歳児) 10時より保育室にて  
ゆり組(2歳児) 13時より4世帯 14時より4世帯

### おしらせ

近くに園庭を作る予定です。今まで猫の額のような小さいお庭しかなく、ダイナミックな遊びが出来ませんでしたが、大型遊具を設置し思いっきり遊べる場所が出来ます。3歳になっても伸び伸び過ごせるような保育園を作っていきますのでよろしく願いいたします。

2月の苦情・ご提案について：特にありませんでした。

保育サロン  
たんぽぽ(子)

## 今月の目標：進級することを心待ちにし楽しく過ごす。

**つぼみ組【0歳児】**：自分の思いを受けとめてもらいながら興味や関心を広げ自ら友達や身の回りのものに関わろうとする。安心できる心地良い雰囲気の中で元気に過ごしながら進級することを心待ちにする。

**もも組【1歳児】**：進級することを喜び、友だちと仲良く遊ぶ。

**ゆり組【2歳児】**：友だちとのつながりを広げ、みんなで遊ぶことを楽しむ 新しい年度への期待を持ち、できることは自分でしようとする

## 3月の保育内容

### 養護

**つぼみ組**：ひとりひとりの子どもの健康状態を把握する。午睡時は音楽を鳴らしリラックスした雰囲気作りをしながら快適な睡眠に導く。保育者との関わりを通じて自分を肯定する気持ちを大切に、受け止めながら安心して過ごせるように配慮する。散歩に出掛け、園の周りがある春を見つけて楽しむ。

**もも組**：手洗い、うがい等が一人で出来るように言葉かけをする。朝夕の気温差に配慮し、衣服の調節をし、心地よく過ごせるようにする。子どもが主体的に取り組む姿を見守り、一人ひとりが自信を持って過ごせるように援助する。

**ゆり組**：一人一人の体調や気温に合った衣服を調整し、できるだけ薄着で過ごすようにする。新しい年度を意識し、自信を持って積極的に行動できるようにする。出来るようになったことを喜び、安心して新しい年度を迎えられるよう気持ちに寄り添いながら関わる。

### 教育

**つぼみ組**：咀嚼をしっかりとできるように「もぐもぐ、かみかみ」と伝えながら楽しい雰囲気の中で食事をする。引き続き冬の感染症に留意し早期発見につながるようにする。子どもの一つ一つの言葉を受けとめ関心を深める。思いや気づきを受け止めながら言葉のやり取りをする。自分がやりたい気持ちを十分に満たされるような環境を整える。気に入った絵本を読んでもらうことを喜ぶ。

**もも組**：身の回りのことについて出来るようになったことが増えて、うれしい気持ちに共感し意欲を育ていけるようにする。仲の良い友達との主張のぶつかり合いは、自分の思いを出している姿と捉えて大切に近づくで見守ったり、双方の思いを代弁してやり取りの仕方を伝えたりする。ボールや大型積み木などの様々な道具を使って保育者や他児と楽しみながら自分でボールを投げたり、大型積み木を組み立てたりして遊ぶ。

**ゆり組**：楽しく食事をする中で、姿勢に気をつけながらできるだけこぼさないように食べてみようとする。排泄の流れが身に付き、衣服の着脱やトイレの使い方を知り、意欲的に行う。保育者や友だちと思い切り体を動かしたり、簡単なルールのある遊びやごっこ遊びなどを一緒に楽しむ。生活や遊びの中で、自分の思いやして欲しい事、困った事などを言葉で保育者に伝えようとする。散歩に出かけたり、園庭で季節の変化を感じる。(つぼみ、芽、梅や桜の花など) 友だちと一緒に季節の歌や遊び歌を歌ったり、体を動かしたりして楽しむ。